

(主)焼津森線社会資本整備総合交付金(舗装・広域)

工事(舗装工)の課題と対策について

株式会社橋本組 渡邊秀樹

1. はじめに

本工事は主要幹線道路である県道焼津森線の維持修繕工事としてアスファルト舗装工を施工した際の課題と対策について報告する。

2. 工事概要

工 事 名：令和元年度 [第 31-I8765-01 号]

(主) 焼津森線社会資本整備総合

交付金(舗装・広域) 工事(舗装工)

工事箇所：焼津市八幡地内

工 期：令和元年 9 月 17 日～令和 2 年 3 月 6 日

工事内容：路面切削工 $t=10\text{cm}$ 4,445 m^2

路面切削工 $t=10\text{cm}$ 4,445 m^2

基層 $t=5\text{cm}$ 4,445 m^2 (3 層)

表層 $t=5\text{cm}$ 4,445 m^2

区画線工 1 式



図-1【位置図】

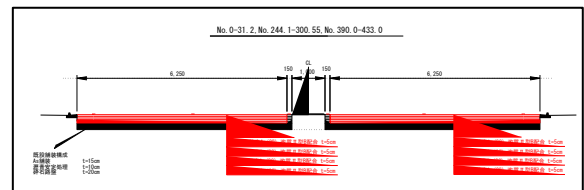


図-2【標準断面図】

3. 現場状況

- ・沿線に営業店舗が多く 24 時間営業 4 店舗含む深夜営業店舗が上下線に点在している。
- ・店舗営業時間終了後も配送車両等が不定期に出入りする。
- ・東名焼津 IC と 150 号線のアクセス道路であり本線へ流入する市道沿線に物流倉庫もあるため大型車が多く、幅員が狭い市道が多いため大型車迂回路が限定される。

4. 現場での課題

- ① 本工事は基層 3 層、表層 1 層の 4 層施工であり日施工量が限定され営業店舗出入口を閉鎖しての作業日数が増加傾向となるため営業店舗への影響日数を極力削減する必要がある。
- ② 本線へ流入する市道取り合い部も施工範囲のため、物流倉庫等からの不定期に出入りする大型車両を確実に誘導する必要がある。
- ③ 24 時間営業店舗もあり第三者への安全対策が必要である。

5. 課題に対する対策

- ① 施工前に沿線店舗への工事のお知らせ時に営業時間、休日、他要望事項を確認後、自動追尾型トータルステーションを使用して現況測量を行い、施工位置と店舗出入口位置の把握し測定結果を基に日施工量 300 m^2 を基本として、店舗出入口を閉塞しない事を原則に施工順序を検討した。
また、沿線店舗ヒヤリング結果より作業開始時刻を 22:00 からとし、土、日曜日は作業を行わない事とした。
なお、施工予定については全体予定表と各店舗用予定表の 2 種類作成し、作業進捗に合わせ配布する事とした。

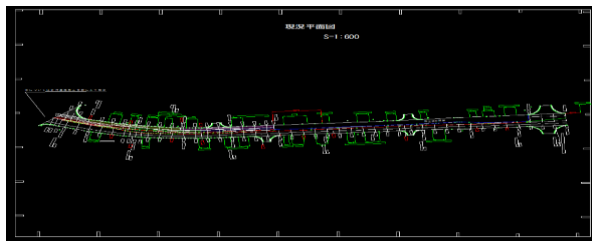


図-3【現況測量結果に基づく施工区分平面図】

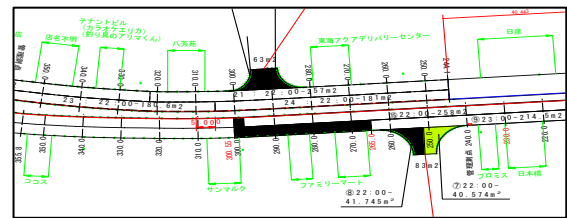


図 3-1【施工区分平面図 拡大】

- ② 施工前に各物流倉庫とのヒヤリングを行った結果、物流倉庫出入口に交通規制案内板を設置させて頂き、マグネット表示の切り替えで当日の通行可能箇所が判別できる対策を実施した。



真-1【交通規制案内板】

- ③ 一般車両対策として店舗名記載の出入口看板を設置し、専任の交通誘導整理人を配置する事とし、歩行者、自転車に対しては建設工事公衆災害防止対策要綱の解説(令和元年9月)を参照し歩道部と作業場の境に移動柵を設置する対策を実施した。



写真-2【移動柵設置状況】

6. 対策を行った結果

- ① 自動追尾型トータルステーションを使用したことで測定結果の記入が不要となり、測定結果はSIMデータでパソコンに直接取り込むことで簡単に図面化することができ、営業店舗出入口を閉鎖せず苦情もなく施工を完了できた。
- ② 簡単な識別方法としたため大型車両運転手の誤認もなく、苦情も発生しなかった。
- ③ 途中安全性を考慮して交通誘導整理人の員数追加もあったが第三者の誤進入、苦情もなく作業を完了できた。

7. 終わりに

今回は4層施工と営業店舗入り口の関係で約2か月間の施工期間となりました。施工時期も12月から1月とクリスマスや年末年始が含まれ、営業店舗対策が重要となる工事でしたが密なコミュニケーションを図ることで苦情の発生もなく作業を完了することができました。

また、東名集中工事期間と重なり施工機械確保に尽力して頂いた協力業者にも感謝したいと思います。